



新着案内

早稲田大阪学園・図書館

http://www.waseda-setsuryo.ed.jp

No.74 2017/5/15



中間試験一週間前から貸し出しを停止します。
放課後の図書館閲覧室は自習優先になります。
館内静粛をお願いいたします。



「小学館の図鑑NEO」全巻/小学館 DVD付の新版もあります。

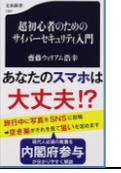


「産業革命」長谷川 貴彦(世界史リフレット)/ 山川出版社

産業革命はなぜイギリスで最初に起こったのか、どのような影響を人びとの生活に与えたのか。グローバル化、環境汚染、貧困と格差など、現代の諸問題と密接につながる産業革命の歴史を、最新の研究成果に拠りながら紐解く。

「世界史リフレット」シリーズこの他64冊入りました。

「人工知能と経済の未来」井上 智洋/文藝春秋



「超初心者のためのサイバーセキュリティ入門」

齋藤, ウリアム浩幸/文藝春秋 インターネットを安全・快適に使うためのルールブック。アメリカと日本で活躍するサイバーセキュリティの第一人者が、分かりやすく・楽しく、基礎から応用までレッスンする。チェックリスト付き。

「あなたのセキュリティ対応間違っています」辻 伸弘/日経BP社



セキュリティバリエーションとして、テレビや雑誌などのメディアに登場する辻 伸弘氏が、実際のサイバー攻撃を調査・解析し、企業や組織はどう対応したらよいか、被害をどう公表すべきかを独自の視点で解説する。なるべく平易な言葉で事故を説明しており、ITに詳しくない読者にも読みやすい。ITに詳しい方であってもそんな事実が隠れていたのかと新しい発見がある。

「読書力」斎藤孝/岩波書店 読書はコミュニケーション力の基礎。

「学校で知っておきたい著作権/1~3」小寺 信良/汐文社



「錯覚の科学」クリストファー・チャリス/文藝春秋

ヒラリーはなぜありもしない戦場体験を語ったのか。日常の錯覚が引き起こす、記憶のウソや認知の歪みをハーバードの俊才が科学実験で徹底検証。サブリミナル効果、モーツァルト効果の陥穽までを暴き、脳科学の通説を覆す。

「おとなになるってどんなこと？」吉本 ばなな/筑摩書房

「生きる意味」上田 紀行/岩波書店

「民主主義という不思議な仕組み」佐々木 毅/筑摩書房



「LGBTを読みとく」森山 至貴/筑摩書房

最近よく見かける「LGBT」という言葉。この言葉からLビイソ、ゲイの当事者を思い浮かべる人も増えている。しかし、それはセクシュアルマイリティの一握りの姿に過ぎない。パセクシュアルやトランスジェンダーについてはほぼ言及されず、それらの言葉ではくくることができない性のかたちがあることも見逃されている。「LGBT」を手掛かりとして、多様な性のありかたを知る方法を学ぶための一冊。

「子育て支援と経済成長」柴田 悠/朝日新聞出版

「疑似科学入門」池内 了/岩波書店

「かんたん!ラクチン!作りおきの便利おかず218」食のスタジオ/西東社

料理好きな生徒さんのリクエスト本! 美味しい物を手作りする楽しさ、美味しく食べてもらう嬉しさを知っているんだね☆ 素敵です♡



「syunkon カフェごはん6」山本ゆり/宝島社

「中華料理屋さんのから揚げ」をはじめとする人気おかずから、電子レンジ“だけ”レシピ、おやつ&お菓子まで、豪華に見えて簡単に作れる料理のレシピを紹介。ブログ『含み笑いのカフェごはん「syunkon」』を書籍化。

「料理と科学の美しい出会い」石川 伸一/化学同人



新しい料理を創造する、分子調理の美味なる世界を案内。料理と科学の出会いの歴史、おいしさを感じる人間の能力やおいしい料理の成分といった料理と科学の親密な関係をひもとき、現実の料理を超えた「超料理」を考える。

「シン・ヤマトコトバ学」シド、ヒロユキ/光文社



「人はなぜ物語を求めるのか」千野 帽子/筑摩書房

人は人生に起こる様々なことに意味付けし物語として認識することなしには生きられない。人間が「物語る動物」であることの意味をわかりやすく解説する。



「最後の息子」吉田 修一/文藝春秋

爽快感200%、とってもキュートな青春小説!! オカマと同棲して気楽な日々を過ごす「ぼく」のビデオ日記に残された映像とは……。とてもキュートな青春小説。文学界新人賞受賞作。



「フレスタガール!」いまい まさこ/文芸社

ひょんなことから外資系広告代理店の高校生ブレーンになった摩湖。個性あふれる面々と一緒にアイデア出しをするうち、仕事の楽しさや難しさを学び、次第に未来に夢を見出して…。青春“お仕事小説”。



「少女には向かない職業」桜庭 一樹/東京創元社

あたし、大西葵13歳は、人をふたり殺した…。あたしはもうだめ。少女の魂は殺人に向かない。これは、ふたりの少女の凄絶な“闘い”の記録。『赤朽葉家の伝説』の俊英が、過酷な運命に翻弄される少女の姿を鮮烈に描いて話題を呼んだ傑作。



「言葉屋/1~3」久米 絵美里/朝日学生新聞社

小学5年生の詠子のおばあちゃんのお仕事は、町の小さな雑貨屋さん。…と思いきや、本業は、「言葉を口にする勇氣」と「言葉を口にしない勇氣」を提供するお店、言葉屋だった! 言葉屋の成り立ちと使命を知ることとなった詠子は、その夏、おばあちゃんの工房に入門する。朝日学生新聞社児童文学賞第5回受賞作。



「らのいた夏」川上 健一/集英社

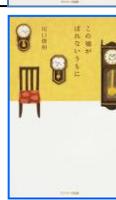
プロを目指す球児・純也はラニツカ中に、天才女子ランナー・ららに出会う。惹かれあう二人だが、やがて悲劇が…。涼風のような恋を描く、スポーツ純愛長編小説!

「天(そら)の梯」高田 郁/角川春樹事務所



「コーヒーが冷めないうちに」川口 俊和/サンマーク出版

お願いします、あの日に戻らせてください。「ここに来れば、過去に戻れるって、ほんとうですか?」不思議なうわさのある喫茶店フニクリフニクラを訪れた4人の女性たちが紡ぐ、家族と、愛と、後悔の物語。2017年度本屋大賞10位。



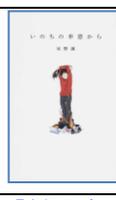
「この嘘がばれないうちに」川口 俊和/サンマーク出版

愛する人を思う気持ちが生み出した、不器用で優しい4つの「嘘」。「過去にいられるのは、コーヒーが冷めるまでの間だけ」不思議な喫茶店フニクリフニクラにやってきた、4人の男たち。どうしても過去に戻りたい彼らの口には出せない本当の願いとは…?『コーヒーが冷めないうちに』の7年後を描く続編。

「櫻子さんの足下には死体が埋まっている/1~11」太田 紫織/KADOKAWA



北海道、旭川。平凡な高校生の僕は、レトロなお屋敷に住む美人なお嬢様、櫻子さんと知り合いた。けれど彼女には、理解出来ない嗜好がある。なんと彼女は「三度の飯より骨が好き」。骨を組み立てる標本士である一方、殺人事件の謎を解く、検死官の役をもこなす。そして僕は、今日も彼女に振り回されて…。エンタメ界期待の新人が放つ、最強キャラ×ライトミステリ。



「いのちの車窓から」星野源/KADOKAWA

ドラマ「逃げ恥」「真田丸」、ヒット曲「恋」に「紅白」出演と、怒濤の日々を送るなかで紡いできた風景、心の機微。星野源の魅力、そのすべてがわかる、誠意あふれるエッセイ集。『ダ・ヴィンチ』連載に書き下ろしを追加。

「雑を包む」有吉 玉青/平凡社

「不幸な国の幸福論」加賀 乙彦/集英社

「恋をしよう。夢をみよう。旅にしよう。」角田 光代/角川書店



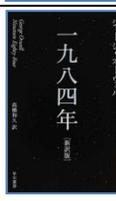
「褒め男」にくらっときたことありますか? 褒め方に下心がなく、さらっと、しかし自分は特別だと錯覚させるくらい上手に褒める。褒められてキャラが変わった女は数知れず。ついに遭遇した褒め男の言葉に私は…。恋愛や人生のヒント満載! 著者と語り合っているうちに元気になる、傑作エッセイ集。

「南極で考えたこと」立松 和平/春秋社



「顔ニモマケス」水野 敬也/文響社

「見た目が9割」の現代社会で、幸せに生きるための方法とは? リンパ管腫、動静脈奇形、アルビノ…。顔や外見に症状を持つ人たちが、人生に起きた出来事を乗り越えて幸せをつかんだ物語を、インタビュー形式で紹介する。



「一九八四年/新訳版」ジョージ・オーウェル/早川書房

“ビッグ・ブラザー”率いる党が支配する全体主義的近未来。ウイリスミスは真理省記録局に勤務する党員で、歴史の改竄が仕事だった。彼は、完璧な屈従を強いる体制に以前より不満を抱いていた。ある時、奔放な美女ジュリアと恋に落ちたことを契機に、彼は伝説的な裏切り者が組織したと噂される反政府地下活動に惹かれるようになるが…。二十世紀世界文学の最高傑作が新訳版で登場。



「すべての見えない光」アンソニー・ドーア/新潮社

【ピュリツァー賞(小説部門)(2015年度)】【カネー・マルフォール賞(小説部門)】【オーストラリア国際書籍賞】【Twitter文学賞海外部門(第7回)】目の見えない少女と、ナチスドイツの若い兵士。2人の運命が、フランスの海辺の町で交差する。時代に翻弄される人々の苦闘を、彼らを包む自然の荘厳さとともに、温かな筆致で繊細に描き出した感動巨篇。

※表紙画像は、出版社の許可を得て転載しています。

